

経営比較分析表（平成30年度決算）

石川県加賀市 加賀市医療センター

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	300床以上～400床未満	自治体職員
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	25	対象	D透視	救急
人口(人)	建物面積(㎡)	不採算地区病院	看護配置	
67,221	26,629	非該当	7:1	

※1 D…人間ドック 透…人工透視 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン(放射線)診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪審判病院

許可病床(一般)	許可病床(療養)	許可病床(結核)
300	-	-
許可病床(精神)	許可病床(感染症)	許可病床(合計)
-	-	300
稼働病床(一般)	稼働病床(療養)	稼働病床(一般+療養)
300	-	300

グラフ凡例

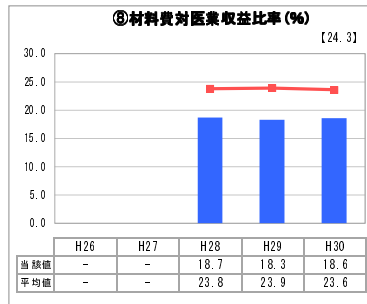
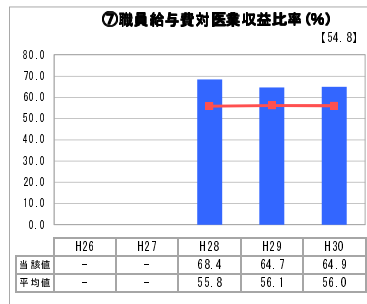
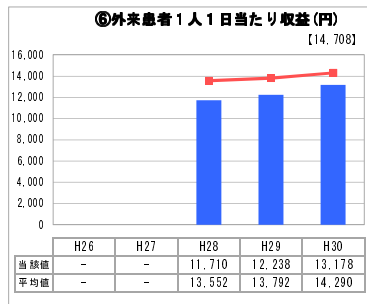
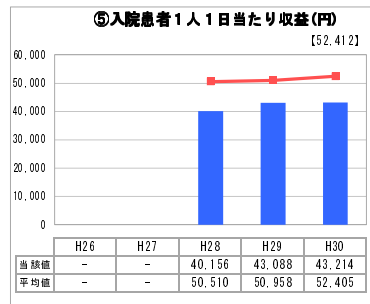
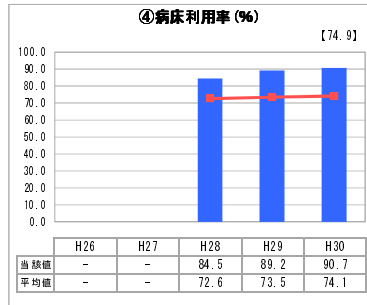
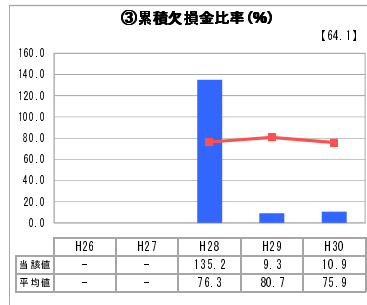
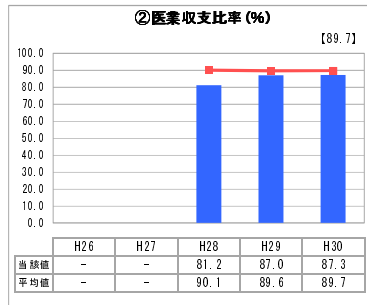
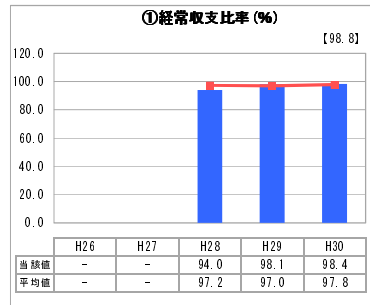
- 当該病院値(当該値)
- 類似病院平均値(平均値)

【】 平成30年度全国平均

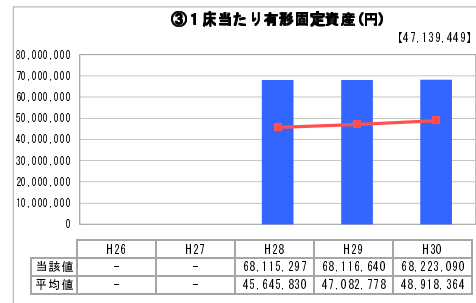
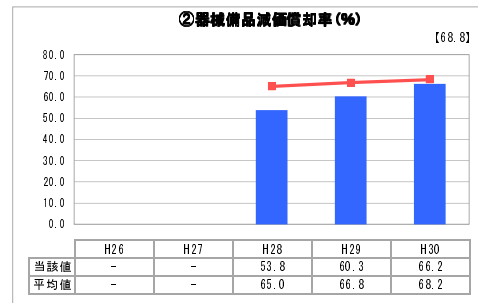
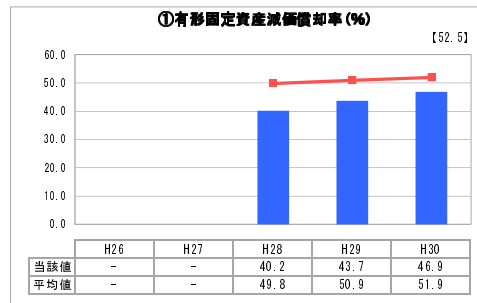
公立病院改革に係る主な取組(直近の実施時期)

西暦・ネットワーク化	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
平成28年度	-年度	-年度

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



I 地域において担っている役割

- ・市内唯一の急性期病院として救急搬送を断らない体制の維持・継続
- ・医療従事者育成環境の充実
- ・周産期の受入促進(市内唯一の分娩施設)
- ・地域包括ケアシステム構築に寄与する在宅復帰支援の充実と地域連携の推進(地域連携センターつむぎ、訪問看護ステーションりんく)
- ・がん治療体制の充実
- ・認知症高齢者の増加に向け行政と連携した活動の促進

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

平成30年度において新たに上位の基準、加算等取得したことに加え、入院・外来患者数の増加、さらには手術件数・出産件数が増加したことにより、入院・外来ともに収益が増加している。また、平成30年4月より訪問看護ステーションを立ち上げ、医業収益の増加に繋がった。今後は更なる医業収支比率の向上、経営収支比率の向上に向けて、より一層の収支バランスを取る事が課題である。

2. 老朽化の状況について

平成28年4月に2つの病院を統合し、移転、新築開院したため、有形固定資産減価償却率及び器械備品減価償却率が平均値を下回っている。また、旧2病院分の資産を有しているため、1床当たり有形固定資産が平均値を上回っているが、将来的な減価償却費の増大に繋がらぬよう、長期的な投資計画に基づいて適切な投資を図る必要がある。

全体総括

当院の経営状況は、各指標とも改善傾向にあり、平成28年度に策定した「加賀市医療センター改革プラン」の計画値を上回っている。今後もプランに基づいて経営の健全化・効率化に向けて努力していく。老朽化に関して、現時点の減価償却費としては顕在化していないが、将来的な費用増大が懸念されるので、計画に基づき適切な投資を行っていく。

※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。